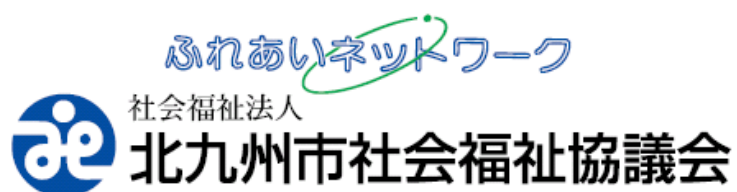


平成25年度

# 事業報告書



# 事業の総括

本会は、北九州市地域福祉活動第四次計画「住民ふくしの元気プラン」に基づき、住民一人ひとりが安心して生き生きと暮らすまちづくりを目指し、様々な福祉課題の解決に取り組みました。

今年度は、既存の事業に加え、高齢者の社会参加・地域貢献を積極的に奨励・支援することにより健康増進や生きがいつくりにつなげることを目的とした「介護支援ボランティア事業」を北九州市から受託し実施しました。

また、「健康マイレージ事業」においては、社協のネットワークを最大限活用することにより、市の目標値である応募者 20,000 人を達成するなど、住民の生涯を通じた健康づくりの推進に大きく貢献するとともに、小地域福祉活動の活性化にもつなげることができました。

さらに、推進基盤の強化のため、「ウェルとばた」及び「年長者研修大学校及び北九州穴生ドーム」の第3期指定管理者の応募に取り組み、引き続き指定管理者業務を担うこととなりました。

本会を取り巻く環境は、福祉課題の多様化や緊縮する財政事情など依然として厳しい状況ではありますが、多くの関係機関・団体と緊密な連携のもと、地域福祉活動の充実強化を図り、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の推進に努めています。

記

## 北九州市地域福祉活動第四次計画 「基本目標」と「実施項目」

### 基本目標Ⅰ みんなで福祉の風土を広げよう

- 1 広報・啓発の強化
- 2 福祉教育の推進
- 3 地域福祉人材の育成

### 基本目標Ⅱ みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

- 1 小地域福祉活動の活性化
- 2 ボランティア・市民活動の支援
- 3 災害時の福祉救援体制づくり

### 基本目標Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、福祉のネットワークをつくろう

- 1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整
- 2 共同募金会との連携
- 3 小地域福祉活動計画の推進

### 基本目標Ⅳ 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

- 1 権利の擁護と相談体制の充実
- 2 社会参加・自立の支援
- 3 調査・研究・提言

### 推進基盤の強化

# 平成25年度 事業報告

～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

## 基本目標 I みんなで福祉の風土を広げよう

「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めるためには、地域社会の福祉課題を住民一人ひとりが理解・共有すること、また、課題を抱える当事者とともに、住民がみんなで解決に動き出せる仕組みづくりが必要です。

そのため、様々な手段を通じて福祉の風土の醸成を図るとともに、一人でも多くの住民の関心を高めることができるよう、地域の福祉活動に積極的に参加できる人材の育成に努めました。

## 目標達成のための取り組み

### 1 広報・啓発の強化

#### (1) 広報紙・パンフレット・ガイドブック等の発行、活用

- ・ テレビや新聞等のマスメディアの積極的な活用 ＜全部署＞
- ・ 事業紹介リーフレットの更新 (20,000部) ＜全部署＞
- ・ 市政番組「ニュース55北九州」での事業PR ＜福祉人材バンク＞
- ・ 広報紙の発行 ＜振興課・施設部・活動推進課・研修課・周望・穴生＞
  - 「社協広報紙」(年4回 172,000部)
  - 「ウェル新聞」年12回
  - 「周望学舎新聞」年1回、「周望かわら版」年3回
  - 「穴生学舎新聞」年1回、「穴生かわら版」年4回
- ・ 研修パンフレット「やさしさの広がるまちづくり」配付 (4,500部) ＜研修課＞
- ・ 市民センター、各種の学校、市内の店舗、JR駅への就職面談会等のチラシ・ポスターの掲示 ＜福祉人材バンク＞
- ・ 新聞や折込広告などの有料広告の活用 ＜福祉人材バンク・周望・穴生＞
  - 福祉人材バンク 新聞広告等 (1,817,000部)
  - 周望・穴生 新聞広告 (1/31朝刊:朝日、読売、毎日)
- ・ 北九州穴生ドームの利用情報の提供 (年12回) ＜穴生＞
- ・ 夢追塾の講座や卒塾生生活動状況の啓発リーフレット発行 (年1回) ＜穴生＞

(2) 啓発イベント等の実施

- ・ 各種イベントでの「プチボザウルス」着ぐるみの活用 (28回) <振興課>
- ・ 市社協表彰記念式典の実施 <総務課>
- ・ 収益事業を通じた広報・啓発事業の取り組み  
<施設部・振興課・地域福祉課>  
(Tシャツ 534 枚、エプロン 180 枚、ポロシャツ 196 枚の販売)  
(まちづくりクッキー販売 493 箱)  
(ウエルとばた記念グッズの試行販売 (写真台紙、ボールペン))
- ・ 市民ふれあいフェスティバルの開催 (参加者 4,773 人) <活動推進課>
- ・ 年長者研修大学校の講座や高齢者ボランティア情報の提供 <周望・穴生>  
(市政だよりシニアカレッジ、年長者と孫のつどい、講座等掲載 27 回)
- ・ 高齢者の生涯学習参加啓発講座の実施 (32 コース) <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校での短期自主講座の開催 (年 20 回講座) <周望・穴生>
  - 1 日体験入学 周望 2 回 30 人 穴生 2 回 51 人
  - 公開講座 穴生 1 回 142 人
  - パソコン講座 周望 11 回 151 人 穴生 4 回 99 人
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー主催事業を開催 <周望・穴生>
  - シニアカレッジ 周望 3 回 152 人 穴生 2 回 122 人

(3) ホームページによる地域福祉関連情報の発信

- ・ ホームページのタイムリーで効果的な情報更新 (77,500 件) <全部署>
- ・ 「ウエルとばた」ホームページを活用した情報発信 (随時) <施設部>
- ・ ホームページによる校(地)区社協活動の紹介 (新規 27 校区、計 91 校区)  
<地域福祉課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報  
(年 10 回更新) <権利擁護・市民後見センター>
- ・ ボランティア・市民活動センターホームページの定時更新による情報提供  
<活動推進課>
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー事業の情報発信 <周望・穴生>  
(「穴生学舎つれづれ日記」年 45 件、「夢追日記」年 2 件)
- ・ 健康マイレージブログの開設による情報発信 (36 件) <生活福祉課>

(4) 出前講演活動の実施

- ・ 関係機関・団体と協力した出前講演活動の実施 (93 回、参加者 3,437 人)  
<全部署>
- ・ ボランティア・市民活動啓発のための受講機会の随時提供 <活動推進課>
- ・ 地域福祉権利擁護事業、法人後見事業の周知及び広報  
<権利擁護・市民後見センター>
- ・ 健康モデル都市を目指した、穴生ドーム職員によるニュースポーツ出前講座  
<穴生>

- (5) 各種事業を通じた広報啓発の取り組み
- ・ ウェルとばたでのドキュメンタリー映画上映を通じた福祉課題の情報発信  
(1回 42人)
  - ・ 視察等の積極的な受け入れによる地域福祉活動拠点機能のPR  
(9回 197人)

<施設部>

## 2 福祉教育の推進

### (1) 子どもを対象とした福祉教育

#### ①地域住民主導の福祉教育

- ・ 校(地)区社協・学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業(ウェルクラブ活動等)の効果的推進(32校区、参加児童789人) <地域福祉課>
- ・ 夏休みボランティア体験学習の実施(2コース 2,088人) <活動推進課>
- ・ 世代を超えた伝承活動、世代間ふれあい交流会の実施  
(周望:62回、304人 穴生:25回、333人) <周望・穴生>
- ・ 世代間交流として幼稚園・小学校・中学校・福祉施設を対象にニュースポーツの体験事業の実施(年1回 7,212人) <周望・穴生>
- ・ 「年長者と孫のつどい」、「シニアと孫の夏休み」での世代間交流、文化伝承  
(周望 58人、穴生 38人) <周望・穴生>

#### ②学校等と連携した福祉教育

- ・ 社会福祉協力校指定事業(15校継続指定) <活動推進課>
- ・ 小地域や小・中学校を基盤とした福祉体験・ボランティア学習の支援  
(6,224人) <活動推進課>

### (2) 市民を対象とした福祉教育

#### ①住民啓発講座等による福祉教育

- ・ 認知症サポーターキャラバン事業の実施 <地域福祉課>  
(認知症サポーター養成講座176回、参加者4,917人)  
(認知症サポーターステップアップ研修26回、参加者965人)  
(一般向け認知症サポーター養成講座5回、参加392人)  
(キャラバン・メイト養成研修1回、参加者36人)  
(キャラバン・メイトフォローアップ研修1回、参加者34人)  
(登録サポーター累計43,698人、登録メイト累計282人)  
(認知症サポーターへの情報提供メール配信サービス 登録者1,040人  
配信回数33回)
- ・ 社会福祉施設及び市民センターにおける体験学習の実施 <周望・穴生>  
(44回)

#### ②年長者研修大学校による福祉教育

- ・ 年間コースの共通科目としての福祉教育の充実(年間32コース)  
<周望・穴生>

- ・ 校(地)区社協及び福祉施設等における現地活動体験  
(周望：14回、287人 穴生：13回、288人) <周望・穴生>
- ・ 留学生との交流事業の実施 (周望：年2回 78人、穴生：年5回 456人)  
<周望・穴生>

### 3 地域福祉人材の育成

#### (1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- ・ 社会福祉ボランティア大学校における養成 <研修課>
  - まちづくりセミナーの実施 (1回 5日 164人)
  - 地域支援ボランティア研修の実施 (7回 21日 933人)
- ・ 年長者研修大学校修了生等の地域福祉活動への参加啓発 <周望・穴生>
- ・ 地域活動情報センターでの地域福祉活動人材育成及びコーディネート、活動情報収集・発信、地域活動の支援、研修修了後の活動支援 (年331件)  
<周望・穴生>

#### (2) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の人材育成

- ・ 校(地)区社協活動者交流会の開催  
(1回、27校区から248人参加、ボランティア40人) <地域福祉課>
- ・ 社会福祉ボランティア大学校における育成 <研修課>
  - 新任者の育成
    - 新任福祉協力員等研修の実施 (8回 8日 333人)
  - 現任者の育成
    - 現任福祉協力員等研修の実施 (7回 7日 501人)
    - 地域福祉活動専門研修の実施 (2回 2日 111人)
    - 校(地)区社会福祉協議会 個別研修の実施 (7回 7日 286人)
  - 役員の育成
    - 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」の実施  
(1回 1日 258人)
    - 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修の実施 (1回 1日 83人)
    - まちづくりゼミナールの実施 (1回 5日 157人)
- ・ 地域活動を目指すコース研修生と地域活動者との交流事業の実施  
(周望：1回、22人 穴生3回、66人) <周望・穴生>
- ・ 学舎ボランティアグループの活動支援 (周望：活動回数645回、活動者数延べ5,755人、穴生：活動回数1,643回、活動者数延べ9,561人)  
<周望・穴生>

#### (3) テーマ型ボランティア・市民活動者の人材育成

- ・ 社会福祉ボランティア大学校における育成 <研修課>
  - 入門者の育成
    - 私にもできる災害ボランティア入門講座の実施 (1回 1日 30人)

傾聴ボランティア養成講座の実施（1回 3日 60人）

福祉有償運送運転協力者研修の実施（4回 8日 111人）

○活動者の育成

災害ボランティアフォローアップ研修の実施（1回 1日 22人）

ボランティア活動者研修の実施（1回 1日 31人）

傾聴ボランティアフォローアップ研修の実施（1回 1日 47人）

○リーダーの育成

ボランティアリーダー研修の実施（1回 2日 51人）

- ・ 高齢者を人生キャリアのあるエイジレスタレントとして育成し、その活動を支援（講師活用、学舎の施設ボランティア採用） <周望・穴生>
- ・ シルバーバンク及び高齢者ボランティアグループ等の活性化と活動支援 <周望・穴生>
- ・ パソコン講座の補助ボランティアとしての「パソコンボランティア」の育成（周望：6人 111回、穴生：18人 90回） <周望・穴生>
- ・ 健康・体力づくり指導者の研修（年1回66人）及び健康ボランティアの養成（年37回 1,086人） <周望・穴生>
- ・ シニア世代の社会貢献や起業支援を行う夢追塾事業の充実 <穴生>
- ・ 社会貢献意欲を高めるボランティア入門講座の実施 <周望・穴生>
  - 傾聴ボランティア入門講座 穴生5回、108人
  - 読み聞かせボランティア入門講座 穴生3回、87人

（4）企業におけるボランティア・市民活動者の人材育成

- ・ 民間社会福祉施設従事者の資質向上を目指した研修会の実施（職場の安全研修 1回 56人） <振興課・福祉人材バンク>
- ・ ボランティアビギナーズ研修の実施（3回 3日 115人） <研修課>
- ・ 企業のための社会貢献活動セミナーの実施（1回 1日 19人）

（5）ボランティア・市民活動支援者の育成

- ・ 社会福祉ボランティア大学校における育成 <研修課>
  - 実務者の育成
    - ボランティアコーディネーター研修の実施（1回 2日 60人）
  - 管理者の育成
    - ボランティアを快く受け入れるための施設長研修の実施（1回 1日 32人）

## 基本目標 II みんなで身近な地域の福祉活動を進めよう

地域社会の福祉課題の解決のためには、それぞれの地域においてあらゆる社会福祉関係者とともに、幅広い住民が地域の福祉活動へ参加することが必要です。

このため、支援を必要としている人たちのニーズを把握し、支援を必要としている人がその課題解決に向かえるよう、幅広い関係者と支援の輪をつくり、住民の主体的参加による福祉活動に取り組みました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 小地域福祉活動の活性化

##### (1) 「ふれあいネットワーク活動」の充実・強化

- 校(地)区社協と福祉関係者（民生委員・児童委員・いのちをつなぐネットワーク担当係長等行政・福祉施設職員等）やNPO・市民活動団体との連携強化・情報の共有  
＜地域福祉課・振興課＞
- 「地域福祉ネットワーク強化事業」（基本事業）の全校(地)区への展開  
＜地域福祉課＞
- 校(地)区の実態に対応した事業実施に取り組むための実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理  
＜地域福祉課＞
- 校(地)区社協がすすめるサロン活動の手引きの発行（8,000部）  
＜地域福祉課＞
- 小地域福祉活動計画作成の手引き（5,000部）  
＜地域福祉課＞

##### (2) 校(地)区社会福祉協議会活動メニュー事業の実施

＜地域福祉課＞

- 高齢者のサロン事業の推進（82校区）
- 校(地)区社協・学校と連携した次世代地域福祉活動者育成事業（ウェルクラブ活動等）の効果的推進【再掲】（32校区、参加児童789人）
- 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進  
（小地域福祉活動計画策定研修3回、のべ70人）  
（活動計画策定校(地)区社協3校区、計22校区）

##### (3) テーマ型ボランティア・市民活動団体との協働

- 校(地)区社協とテーマ型ボランティア・市民活動団体の協働の推進  
＜活動推進課＞
- 健康と福祉のまちづくり事業の支援（穴生ドーム早朝開放 10,486人）  
＜穴生＞
- 年長者研修大学校修了生の小地域福祉活動への参加促進  
＜周望・穴生＞



- ・ 「ふれあい生き生きサロン」の実施（年 22 回、1,885 人） <穴生>
- ・ 高齢者による子育て活動への支援 <周望・穴生>
  - 子育て支援研修 周望：1 件、29 人
  - 昔遊びの指導等による世代間交流 穴生：4 件、536 人
- ・ 健康づくり活動支援としてニュースポーツ出前講座（年 51 回 956 人）
- 【再掲】 <穴生>

(4) 校(地)区社会福祉協議会会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の  
開催 <地域福祉課>

- ・ 校(地)区社協会会長会議・ふれあいネットワーク活動担当者会議の定期的な開催の支援

## 2 ボランティア・市民活動の支援

### (1) ボランティア・市民活動への支援

- ・ 各種基金助成金等の情報提供、申請協力による活動支援 <振興課>  
(情報提供 25 件、申請協力 3 件)
- ・ ウェルとばたの管理運営事業を活用して、ボランティア活動の場や市民活動発表の場の提供(随時) <施設部>
- ・ 施設を有効活用した市民参加型のにぎわい創出事業の実施(随時) <施設部>  
(「ステージでスタインウェイを弾いてみませんか」 2 回 52 人)  
(「個展を開いてみませんか」 8 件)
- ・ 夏まつりイベント等などでの「オープンカフェ」の実施(2 回)
- ・ NPO 法人と連携した市民のエコ活動の啓発と推進
- ・ ウェルとばた入居者間のリユース・リサイクル情報提供(1 回) <施設部>
- ・ ボランティア活動保険加入助成(活動者助成 22,926 人) <活動推進課>
- ・ 研修参加支援(全国ボランティアフェスティバル高知 参加助成 2 人) <活動推進課>
- ・ 活動相談・情報提供機能の充実 <活動推進課>
- ・ 福祉教材の貸与 <活動推進課>
- ・ 年長者研修大学校の地域開放事業等の実施 <周望・穴生>
  - 大学祭 周望：2 日間、1,337 人
  - 大学祭&ドームフェスタ 穴生：2 日間、7,700 人
  - スポーツ大会 穴生：1 回、652 人
  - 公開講座 穴生：1 回、142 人

### (2) ボランティア・市民活動ネットワークの構築

- ・ 区を横断する市域のボランティア・市民活動団体ネットワーク構築の推進 <活動推進課>

- ・ 中間支援組織間の連絡会の開催（4回） <活動推進課>
- ・ コーディネーターの連絡機関組織化の推進 <活動推進課>
- ・ 区域におけるボランティア機関・団体との連携 <周望・穴生>
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー機能の活用 <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校ボランティア指導員の登用（周望：8人、穴生5人）  
<周望・穴生>
- ・ 夢追塾卒熟生のナビゲーター補への登用（24人） <穴生>

### 3 災害時の福祉救援体制づくり

#### (1) 災害時の福祉救援体制づくり

- ・ 民生委員・児童委員と連携した福祉救援活動への取り組み推進 <振興課>
- ・ 校(地)区社協機能を活用した災害時の福祉救援体制づくりの推進  
(メニュー事業 32 校区、出前講演(災害)1回/17人) <地域福祉課>
- ・ 年長者研修大学校研修生に対する救急救命講習の実施による防災意識の推進  
(周望：4回、125人 穴生：6回、159人 ウェルとばた：2回)  
<周望・穴生>
- ・ 防火・防災訓練の実施（周望：1回、穴生：1回） <周望・穴生>
- ・ 災害時の災害ボランティアセンターとの連携及び支援 <周望・穴生>
- ・ 周望学舎の宿泊施設を緊急避難場所として活用するための体制づくり  
<周望>
- ・ 穴生ドームを緊急避難場所として活用するための体制づくり  
<穴生>

#### (2) 災害時ボランティアセンター設置に向けた体制整備 <活動推進課>

- ・ 災害時ボランティアグループへの支援  
(災害関連情報の定期提供)
- ・ 災害ボランティア研修受講者のフォローアップ  
(報告会の開催、15人参加)
- ・ 北九州市防災会議への参画
- ・ 社会福祉施設協議会連絡会での協議検討 <振興課>

#### (3) 災害への対応

- ・ 災害時のボランティアコーディネーション <活動推進課>

## 基本目標 Ⅲ 関係機関・団体が手を結び、 福祉のネットワークをつくろう

市民の価値観や生活様式の多様化によって、地域の福祉課題についても複雑化し、いくつかの課題を同時に抱える場合もあります。

そのため、保健、医療、福祉等の関係機関・団体との連携を強め、総合的に課題の解決に取り組みました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 社会福祉関係機関・団体との連携・調整

##### (1) 民生委員・児童委員との連携

- ・ 民生委員・児童委員と福祉協力員等との地域情報共有化による小地域福祉活動の円滑な連携の推進 <振興課・地域福祉課>
- ・ 市民生委員児童委員協議会事務局の運営 <振興課>  
(会議 32回、研修会 5回)
- ・ 市・区民生委員児童委員協議会の相互連携の推進 <振興課>
- ・ 民生委員互助共励事業の実施による民生委員活動の充実と推進 <振興課>  
(弔慰金・見舞金等の支給、指定地区民児協事業の実施)
- ・ 「個人情報保護を正しく理解し共助の力を高めるために！民生委員や福祉協力員等の個人情報の取り扱い」冊子の新規作成 (10,000部)  
<振興課・地域福祉課>

##### (2) 専門職等の参加による連絡調整会議の充実

- ・ 地域包括支援センター派遣職員と地域福祉活動者との協力体制づくり  
(統括・地域包括支援センター13名、予防給付ケアマネジャー9名)  
<生活福祉課>
- ・ 校(地)区社協連絡調整会議の定例化及び活性化  
(全市で延べ 1,257回) <地域福祉課>

##### (3) 社会福祉関係機関・団体による地域の福祉課題の啓発活動

- ・ 地域活動者との交流授業の実施 (周望：1回、22人 穴生：3回、66人)  
<周望・穴生>
- ・ 校(地)区社協及び福祉施設等における現地活動体験  
(周望：14回、316人 穴生：13回、288人) <周望・穴生>
- ・ 年長者研修大学校での老人クラブ研修の実施 (年10回、607人) <周望>

(4) 各施設協議会等との連携

- ・ 社会福祉施設協議会連絡会の開催（年3回） <振興課>
- ・ 大都市社会福祉施設協議会（神戸市）大会への参加 <振興課>
- ・ ウェルとばた入居者とのネットワークづくりの推進（2回）
- ・ ウェルとばた入居団体・近隣事業所との戸畑駅前地区防災相互応援協定に基づく総合防災訓練（年2回 6月240人、12月147人）
- ・ JR戸畑駅、イオン戸畑店、福岡銀行戸畑支店との代表者会議及び実務者会議の実施（代表者会議1回14人、実務者会議1回11人） <施設部>

(5) 福祉の職場の就労斡旋

- ・ 潜在的有資格者就労支援事業「介護有資格者向け就労支援セミナー」の開催（2回 37人） <福祉人材バンク>
- ・ 「福祉の職場 合同就職面談会 in 北九州」の開催 <福祉人材バンク>（2回 求人100施設、求人373件 1,151人、求職者309人、採用19人）
- ・ 社会福祉施設等との情報交換による求人の開拓 <福祉人材バンク>（求人数741件 2,165人、採用者数52人）
- ・ 求職登録者への定期的な求人情報の提供（3,077件） <福祉人材バンク>
- ・ 求人登録事業者への求職者情報の提供 <福祉人材バンク>（福祉人材情報システム「COOLシステム」の活用）
- ・ 福祉サービス事業従事者が安全・安心に労働できる職場環境整備の推進（職場の安全研修 1回 56人）【再掲】 <振興課・福祉人材バンク>
- ・ 「求人対策セミナー」の開催（2回 124人） <福祉人材バンク>
- ・ 福岡労働局、ハローワークとの連携 <福祉人材バンク>
- ・ 年長者研修大学校修了生等の活動拠点の確保 <周望・穴生>

(6) 社会福祉施設・団体への支援

- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業の実施 <振興課>（加入 204施設、4,506人、共済事業担当者会議 1回 56人）
- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業担当者研修会の実施 <振興課>（職場の安全研修 1回 56人）【再掲】
- ・ 各社会福祉施設協議会等への福祉情報提供や行事への参加 <振興課>（保育所連盟行事、児童養護施設協議会施設長会等への参加）
- ・ 民間社会福祉施設整備資金等貸付事業の実施 <振興課>
- ・ 寄付行為に伴う寄贈施設の斡旋（8団体） <振興課>
- ・ 社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施 <権利擁護・市民後見センター>（他団体等からの視察の受入：14回、122人）
- ・ 地域福祉権利擁護事業利用者、法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 <権利擁護・市民後見センター>

## 2 共同募金会との連携

- (1) 共同募金会各区支会連絡協議会業務の活性化
- ・ 福岡県共同募金配分委員会への参画 <振興課>
  - ・ 福岡県共同募金推進委員会への参画 <振興課>
- (2) 共同募金の広報活動推進強化
- ・ 共同募金啓発パネル展の実施 (1回: ウェルとばた) <振興課>
  - ・ ふれあいフェスタ 2013 での共同募金啓発パネル展の実施 <振興課>
  - ・ 共同募金運動物品販売への協力 <振興課>
  - ・ ウェルとばたを活用した積極的な募金活動の実施 <振興課>
  - ・ 歳末たすけあい募金運動への協力 <振興課>
- (3) 歳末たすけあい募金の地域支援事業への転換 <振興課>
- ・ 各区社協及び校(地)区社協での地域歳末支援事業の実施

## 3 小地域福祉活動計画の推進

- (1) 校(地)区単位の小地域活動計画づくりの推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区単位の小地域福祉活動計画づくりの推進
  - ・ 小地域福祉活動計画策定の手引きの発行 (5,000部)
  - ・ 小地域福祉活動計画策定研修(ふくしプランニング工房)の開催  
(小地域福祉活動計画策定研修3回、延べ70人)  
(活動計画策定校(地)区社協3校区、計22校区)

## 基本目標 IV 一人ひとりの安全で安心な暮らしを守ろう

誰もが地域の中で生き生きと自立した生活ができるよう、住民と関係機関・団体との連携のもとで、プライバシーに配慮しながら、支援を必要としている人に対する活動を行っています。

また、住民の日常生活上のニーズを把握し、住民の生活感覚に沿った提言を行い、新しい活動の仕組みづくりに取り組みました。

### 目標達成のための取り組み

#### 1 権利の擁護と相談体制の充実

- (1) 地域福祉権利擁護・法人後見事業の充実 <権利擁護・市民後見センター>
- (平成25年度末 地域福祉権利擁護事業 実契約者数 287人)
  - (平成25年度末 法人後見事業 成年後見人等受任数 48人)
  - ・ 出前講演等による事業の周知【再掲】
    - (校(地)区社協等への出前講演：年7回、196人)【再掲】
    - (他団体等からの視察の受入：14回、122人)【再掲】
    - (他都市が開催する研修会等への講師派遣：年7回、520人)
  - ・ 成年後見センター「みと」と連携した総合相談機能の強化(相談624件)
  - ・ 地域包括支援センター等と連携した被虐待者への対応
  - ・ 関係団体との連携による効果的かつ効率的なサービスの実施(行政、介護事業所、障害者支援団体、ホームレス支援団体等)
    - (金銭管理サービス総回数5,084回、生活支援サービス総回数5,061回)
  - ・ 専門機関との連携による法人後見事業の円滑な遂行(家庭裁判所、成年後見センター「みと」、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等)
    - (法人後見事業活動総回数1,285回)
  - ・ 職員のスキルアップと専門知識の習得
    - (支援員、支援員研修会の実施 2回 82人)
    - (ブロック会議の実施 2回 82人)
    - (参加研修会延べ回数 10回 10人)
  - ・ 地域福祉権利擁護事業利用者の成年後見制度への移行支援
    - (法人後見事業移行件数 1件)
  - ・ 市民後見人養成研修の実施と、市民後見人として個人で選任される仕組みづくりの検討
    - (基礎研修5日間 述べ60人、実務研修8.5日間 延べ99人)
    - (市民後見人の個人受任に向けた検討会 3回)

- (2) 要支援者への情報提供や相談機関等の紹介
- ・ 各区社協における心配ごと相談所の運営 ＜振興課＞  
(相談件数 1,129 件、〈内訳:解決 323 件、他機関紹介 518 件、その他 288 件〉)
  - ・ 心配ごと相談員研修会の開催 (1 回 147 人) ＜振興課＞
  - ・ 求人、求職に対する相談と情報把握の充実 ＜福祉人材バンク＞  
(求人相談 5,375 件、求職相談 4,151 件)
  - ・ 生活福祉資金相談コーナーでの相談受付 ＜振興課＞  
(窓口等相談件数 3,002 件、教育支援資金制度説明会開催 2 回)
  - ・ 小地域福祉活動を活用した見守り対象者への情報提供  
(20,961 世帯、170,395 回) ＜地域福祉課＞
  - ・ 地域福祉権利擁護事業利用者への生活支援サービスによる情報提供や苦情申立ての支援 ＜権利擁護・市民後見センター＞  
(生活支援サービス総回数 5,061 回) 【再掲】
- (3) 社会福祉施設と連携した相談体制の充実
- ・ 年長者研修大学校による権利擁護事業の理解の促進と福祉サービス等情報の提供 (周望:16 回、868 人 穴生:16 回、326 人) ＜周望・穴生＞
  - ・ 社会福祉施設・団体を対象とした地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業説明会の実施 ＜権利擁護・市民後見センター＞  
(他団体等からの視察の受入:14 回、122 人) 【再掲】
  - ・ 地域福祉権利擁護事業利用者、法人後見事業利用者の個別ケア会議への参加 ＜権利擁護・市民後見センター＞  
【再掲】
  - ・ 介護サービス相談員派遣事業の実施 (130 事業所、延べ 1,880 回派遣) ＜地域福祉課＞

## 2 社会参加・自立の支援

- (1) サロン事業の推進
- ・ 高齢者のサロン事業の推進 (82 校区) 【再掲】 ＜地域福祉課＞
  - ・ 校(地)区社協がすすめるサロン活動の手引きの発行 (8,000 部) 【再掲】 ＜地域福祉課＞
- (2) 高齢者・障害のある人、母子・父子家庭等への支援 (生きがい・健康づくり等)
- ・ 交流プラザで周望学舎・穴生学舎合同修了作品展の実施 ＜施設部＞
  - ・ 高齢者地域交流支援通所事業(地域交流型デイサービス)の実施 ＜生活福祉課＞  
(市民センター50 箇所 週 2 回、実施日数 4,696 日、延べ 51,406 人利用)
  - ・ 健康マイレージ事業の推進 ＜生活福祉課＞  
(事業登録件数 5,901 件、事業説明件数 1,832 回、応募者数 20,560 人)
  - ・ 高齢者見守りサポーター派遣事業の実施 (延べ 370 回派遣) ＜地域福祉課＞
  - ・ 年長者研修大学校修了生の小地域福祉活動への参加促進 【再掲】 ＜周望・穴生＞

- ・ 健康ウォーキングの実施（年 12,872 人） <穴生>
  - ・ 健康モデル都市を目指した、穴生ドーム職員によるニュースポーツ出前講座（年 51 回 956 人）【再掲】 <穴生>
  - ・ 老人クラブ連合会との連携による会長研修事業等の実施（10 回、607 人） <周望>
  - ・ シニア世代の社会貢献やNPO等の支援を行う夢追塾事業の充実【再掲】 <穴生>
  - ・ 地域活動を目指すコースの実施 <周望・穴生>  
（周望：3 コース、81 人 穴生：3 コース、76 人）
  - ・ 高齢者の生涯学習に対する意識啓発と受講機会の拡大を図るための大学活用型校外授業の実施  
（シニアカレッジ 周望：3 回、152 人 穴生：2 回、122 人） <周望・穴生>
  - ・ 高齢者の社会参加活動支援のための場の提供（ボランティアグループ、クラブ、同好会、同窓会、夢追塾卒塾生）  
（周望：6,888 人、 穴生：9,561 人） <周望・穴生>
  - ・ 高齢者の健康・体力づくり事業（スポーツ教室 年 2 回 325 人）、（スポーツ大会 年 5 回 904 人） <穴生>
  - ・ 高齢者の健康づくりを支援する穴生ドームの早朝開放、ニュースポーツ開放デーの実施（早朝開放 10,486 人、ニュースポーツ開放 629 人） <穴生>
  - ・ 社会貢献意欲を高めるボランティア入門講座の実施【再掲】 <周望・穴生>
  - ・ 高齢者の特性に合わせた自主講座の実施、研修生・夢追塾塾生間の意見交換会・交流会の実施（617 人） <周望・穴生>
- (3) 障害福祉サービス事業所等と連携した研修生の研修終了後の活動に向けた支援
- ・ 地域福祉活動体験の一環として、障害福祉サービス事業所で穴生学舎研修生の作業実習、学舎大学祭での作成品販売等の実施  
（大学祭出店団体 5 団体、28 人） <穴生>
- (4) ボランティア活動による在宅高齢者の支援
- ・ シルバーひまわりサービス（送迎）事業（5,451 件） <活動推進課>
  - ・ 腕自慢おまかせサービス（83 件） <活動推進課>
- (5) ボランティア活動による高齢者の社会参加の支援
- ・ 高齢者いきがい活動ステーションによる活動機会の紹介(3,254 件) <活動推進課>
  - ・ 介護支援ボランティア事業の実施 <活動推進課>  
ボランティア登録数（1,102 人）  
受入施設数（204 施設）



(6) 生活福祉資金貸付制度の運用

- 生活福祉資金貸付制度の運用による自立の支援 <振興課>
  - (障害者世帯 25件 9,278千円)
  - (母子、父子世帯 85件 30,109千円)
  - (高齢者世帯 32件 20,225千円)
  - (低所得者世帯 251件 63,264千円)

### 3 調査・研究、提言

(1) 地域福祉活動のあり方に関する委員会の開催

- 総合企画委員会の開催 (2回) <地域福祉課>

(2) 小地域福祉活動の実態把握及び調査・研究、提言 <地域福祉課>

- ふれあいネットワーク活動中間報告・実績報告による校(地)区社協活動の点検・評価
- 校(地)区の実態に対応した事業実施に取り組むための実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理【再掲】 <地域福祉課>

(3) ボランティア・市民活動実態調査

- ボランティア・市民活動団体の意識や活動実態の把握 (693団体) <活動推進課>
- 高齢者の学習ニーズ、ボランティア活動への関心等の調査 (各学舎年1回) <周望・穴生>
- 夢追塾塾生のニーズ調査及び卒塾生の動向調査 (年2回) <穴生>
- 地域活動コーディネートのための、福祉施設等におけるニーズ調査 (各学舎年1回) <周望・穴生>
- 年長者研修大卒終了後の地域活動の動向調査 (各学舎年1回) <周望・穴生>

## 推進基盤の強化

社会福祉法は、地域福祉の推進役として社会福祉協議会を位置づけています。

校(地)区社会福祉協議会・区社会福祉協議会・市社会福祉協議会は、一体となって「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めていくために、各域社協で「組織づくり」「活動拠点の確保」「活動点検」「役割分担」「財政基盤の強化」「人材育成」の視点を持って推進基盤の強化を行い、連携・協働しながら、地域福祉活動を計画的に進めています。

### 1 校(地)区社会福祉協議会への支援

- ・ 地域福祉活動計画に基づく活動の実践の支援 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協役員会・連絡調整会議等の定期的な開催による課題の共有と対応 <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画推進状況の点検評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区の実態に対応した事業実施に取り組むための実績報告・中間報告・第三者評価等のしくみを活かした課題整理【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 校(地)区社協活動の手引きや役員研修会等を通じた校(地)区社協機能の周知・理解の促進 <地域福祉課>
- ・ まちづくりクッキー販売等自主財源確保の取り組み支援 <振興課>

### 2 区社会福祉協議会への支援

- ・ 地域福祉活動計画に基づく活動の実践の支援【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 課長・事務局長合同会議等を活用した小地域福祉活動支援力の向上 <地域福祉課>
- ・ 区における収益事業、賛助会員等の拡充の支援 <振興課>

### 3 市社会福祉協議会での基盤強化

- ・ 総合企画委員会における地域福祉活動第四次計画進捗状況の点検・評価及び計画の推進【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 課長・事務局長合同会議等を活用した小地域福祉活動支援力の向上【再掲】 <地域福祉課>
- ・ 賛助会員増強運動の推進（企業・団体 202件、個人 308件） <振興課>
- ・ 収益事業の拡充（駐車場管理） <振興課>
- ・ 全部署を対象とした、物品購入の一元化と入札による経費削減 <施設部>

- ・ 省エネによる更なる経費抑制（光熱水費価格が上昇する中 3.3%増に抑制）  
＜施設部＞
- ・ 第二期指定管理業務の推進と第三期指定管理者への応募・決定  
（ウエルとばた、年長者研修大学校、北九州穴生ドーム、夢追塾）  
＜施設部・北九州シニアネットワークアカデミー＞
- ・ 研修生の環境リサイクル運動への取り組み  
＜周望・穴生＞
- ・ 省エネ・省資源による施設運営  
＜周望・穴生＞

## 北九州市制50周年記念事業（抜粋）

- ・ ウエルとばた「初夏のをどり」（1回 553人）  
＜施設部＞
- ・ ウエルとばた「夏まつり」（1回 180人）  
＜施設部＞
- ・ ウエルとばた「スペシャルウエルカムコンサート」（1回 190人）  
＜施設部＞
- ・ ウエルとばた「新春歌まつり」（1回 521人）  
＜施設部＞
- ・ 市民ふれあいフェスティバル（4,773人）  
＜活動推進課＞
- ・ 生涯現役夢追塾「公開講座」（140人）  
＜穴生＞
- ・ 周望学舎・穴生学舎スポーツ大会（周望：486人、穴生：652人）  
＜周望・穴生＞
- ・ 周望学舎・穴生学舎大学祭（周望：1,337人、穴生7,700人）  
＜周望・穴生＞
- ・ 求人対策セミナーの開催（2回 124人）  
＜福祉人材バンク＞

## 常設委員会

市社会福祉協議会が実施する事業を適正に遂行するよう、各種常設委員会にて協議を行っています。

- ・ 民間社会福祉事業従事者共済事業運営委員会（1回）  
＜振興課＞
- ・ ボランティア・市民活動センター運営委員会（3回）  
＜活動推進課・研修課＞
- ・ 北九州シニアネットワークアカデミー運営改善委員会（2回）  
＜周望・穴生＞
- ・ 総合企画委員会（2回）  
＜地域福祉課＞
- ・ 権利擁護・市民後見センター監視委員会（4回）  
＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 権利擁護・市民後見センター運用委員会（14回）  
＜権利擁護・市民後見センター＞
- ・ 表彰審査委員会（1回）  
＜総務課＞
- ・ 福祉人材バンク運営委員会（1回）  
＜福祉人材バンク＞

## 専門委員会

- ・ ボランティア・市民活動団体ネットワークに関する専門委員会（2回）  
＜活動推進課＞
- ・ 研修専門委員会（2回）  
＜研修課＞